活動テーマ

飯能の里山資源を活用したアウトドア・スポーツ・ツーリズムへの挑戦

飯能市町村原市場地区　駿河台大学　平井ゼミ

１　活動目的

里山資源を活用した「体験」を提供するアウトドア・スポーツ・ツーリズムを盛り上げる活動を進めること。

２　活動地域の現状

山、川、湖などの多様な自然が楽しめる飯能。これまでの飯能では、エコツーリズムでの地域資源活用が多くみられ、全国的に注目を集めてきた。近年ではキャンプへの関心が高まり、飯能の自然資源を活用した活動が増えつつある。さらに現代社会ではコロナ禍もあり、健康志向、体験志向が高まっている。しかし一方で健康を構築する「スポーツ」を意識した取り組みは多くはない。

３　活動内容

・原市場とその隣接地域の現状把握と関係性の構築。地域イベント等への参加。
・夏以降、アウトドア・スポーツを組み込んだモニターツアーを実施。

４　成果

<u>竹林での環境保全活動</u>

森林に侵入した竹の整備事業を地元山林保有者の方と一緒に行った。急傾斜での作業はスポーツ科学部の学生でもきつく、極めてハードであることが体験できた。

<u>エコツアー「はじめてのプチサバイバル」の実施</u>

モニターツアーを実施する予定であったが、飯能市のエコツアーとして実施。9 回予定をしたが、コロナ蔓延のため実施は 4 回に留まった。参加者の満足度は高かった。保護者からは当日の様子がわかるといい、という意見があり、来年度に生かす予定。

<u>拠点整備</u>

貸借した古民家で来年に向けて薪づくりをしたり、新たな設備を作成したりと、来年度に向けた準備を開始。廃材を使ったサウナづくりを画策中。

地域イベントへの参加

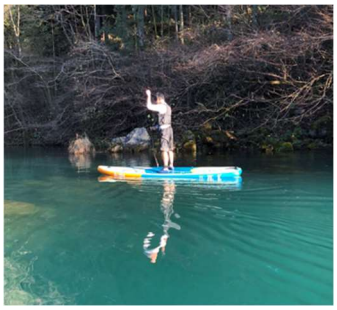
謎解きイベントや地域のイベントのスタッフとして活動し、関係性を深めた。

クリスマスリースづくり

ミニ門松づくり

先進地視察

SUP（スタンドアップパドルボード）やたき火カフェ、テントサウナ、ジップスライド、お茶を楽しむエコツアーなど、先進地視察を行い、次年度へのヒントを得た。



・トレイル整備とステークホルダーとの関係性の構築

奥武蔵マウンテンバイク友の会の方々と一緒に、荒れた山道の整備。また、マウンテンバイクの乗り方を教えてもらった。また、近隣の農家よりブルーベリーの木を譲っていただき、植樹。次年度以降につなげる。

５　課題

・地域との関係性の構築を進めること、この地域「ならでは、でしか」のプログラムをつくること、そして、私たちが手に負えない部分のヘルプをお願いすること。

６　次年度以降の計画

今年度のエコツアーで得た知見に基づき、地域のニーズを踏まえたツアーの企画運営を実施。並行して、地域産品を活用した健康に良いプロダクトの開発のための 6 次産業化の可能性について、調査と試作を実施する。